

【厚木北地区】令和5年度あつぎタウンミーティング実施結果

日 時: 令和5年8月23日(水) 午後6時25分～午後7時30分
 会 場: 厚木北公民館 2階会議室
 参加者: 地区の自治会長(11名)、公民館地区館長、
 市長、副市長、教育長、政策部長、市長室長、地区市民センター所長

自治会長からの意見	市長等からの回答
意見1 本庁舎の跡地利用について	
<p>【元町自治会】 ■本庁舎の跡地利用について、検討委員会がここでスタートしました。検討委員会においての具体的な利用計画の検討はこれからとなりますが、本庁舎の跡地利用について、市長の現在の想いをお聴きかせください。</p>	<p>■本庁舎の跡地利用については、第1回の検討委員会がスタートしたところで、メンバーについては、地域の方々をはじめ、公募の市民の皆様や学識経験者、関係団体等で構成されています。そこで新たな活用について基本方針の策定に向けた検討を進めていくこととなりますが、本庁舎跡地については、本庁舎だけを考えるのではなく、大手公園や中央公園の有効活用を見据えつつ、本厚木駅北口の再開発や複合施設の整備、アミューあつぎなどを面として捉え、まとまったエリアとしてどのように魅力を高めていくか考える必要があります。 特に、本厚木駅北口の再整備については、100年の計として、全国から憧れを抱かれるまち、「生まれ変わり」というところを意識して再整備を進めていきます。 多くの皆様に御意見をいただきながら、本庁舎跡地の活用について、方向性をしっかりと出していきます。</p> <p>(担当課: 行政経営課、市街地整備課)</p>
意見2 相模川三川合流点周辺の整備について	
<p>【元町自治会】 ■相模川三川合流点周辺の整備計画について、市と地元自治会等と何度か話し合いをしてきていますが、まだ、県への要望内容は固まっていないと伺っています。 三川合流地点にある市のスポーツ施設は、今後どうなりますか。</p>	<p>■相模川三川合流地点周辺の整備については、県と調整をしながら進めていく部分もあり、地域の皆様の御意見を伺いながら検討を進めていきます。 三川合流地点にある市営の水泳プールについては、令和5年12月に供用開始予定のふれあいプラザに機能を移転し、公共プール施設の集約化を図っていきます。 また、厚木野球場と厚木テニスコートの代替施設については、スポーツの聖地づくりとしていくなかで飯山グラウンド再整備の取組を進めていきます。</p> <p>(担当課: 河川ふれあい課、スポーツ推進課)</p>
意見3 寿町弁天広場の整備について	
<p>【元町自治会】 ■寿町弁天広場について、地域住民が憩える場所としての整備は検討できないでしょうか。</p>	<p>■弁天広場については、現時点では、特定の行政目的を持たない普通財産としているため、こうした財産を所管する部署が暫定的に管理しています。活用方法が定まってくれば、それに応じた部署において、整備や活用を行っていきます。</p> <p>(担当課: 財産管理課)</p>
意見4 身近なスポーツ広場等について	
<p>【松枝自治会】 ■市営水泳プールの廃止について、インターネットで記事を読み、以前、子どもたちと市営プールで泳いだことを思い出しました。近年では、小学校のプールも開放しておらず、また、街なかでは、以前あったちょっとしたスペースもなくなり、身近なスポーツ広場等で軽い運動をしたり、子どもとキャッチボールをしたりするような空間がなくなっています。 災害時には一時的な避難もできますので、街なかのちょっとした広場を守ってほしいです。</p>	<p>■市営プールについては、今年最後の夏として、多くの人が惜しみながら御利用いただいています。開場して以来60年間、多くの市民に親しまれてきましたが、施設老朽化のため廃止が決まったものです。市営プールや市営球場については、私自身も利用してきており、なくなってしまうのはさみしい部分もありますが、今年12月には「ふれあいプラザ」に屋内プールが全面リニューアルオープンする予定ですので、是非、御利用いただきたいと思っております。 身近な広場については、以前は家の近くにキャッチボールなどができるスペースがあったものの、現在は、相続などのタイミングで広場がなくなってしまうと、代替の場所が見つからず、代替施設を直ちに設置するのは難しいというのが実際のところですが、防災の面などからも貴重な空間ですので、地域において適した土地がありましたら、情報をお寄せ願います。</p> <p>(担当課: スポーツ推進課)</p>

意見5 本厚木駅北口再整備の印象付け、イメージについて

【松枝自治会】

■本厚木駅南口の再開発では、終わってみれば大きなマンションができただけといった評価を持っている方は少なからずいると思います。
今後、生まれ変わる中心市街地として、本厚木駅北口をデザイン性や機能性に優れたまちとして整備していくとのことですが、本厚木駅に降りた時に、これが本厚木だという印象付けをどういったものにしていくのでしょうか。

近隣の海老名市や平塚市などには大型商業施設があるなかで、厚木市が商業施設で対抗してもしょうがないと思います。そういった状況で、厚木らしさとは何なのか。本厚木駅北口は、厚木の顔となるわけですから、なんとなくできちゃったではなくて、はっきりとしたイメージを持って再整備をしていただきたいです。

■本厚木駅北口を再整備していくに当たっては、所有者の方にどの範囲まで御協力していただけるかなど、いろいろと相談をさせていただきながら進めているところです。
狭いエリアではなく、なるべく広い範囲で、100年の計として、すばらしい「生まれ変わり」となる北口をつくっていかねばならないと、強い使命感を持って取り組んでいるところです。再整備のエリアがどれだけ広がっていくのか、それによってどのような絵を描けるのか、さらなる検討を進めていきます。

(担当課:市街地整備課)

意見6 市から自治会に対する希望・要望について

【大手南自治会】

■行政と自治会はパートナーとして、共に助け合って、共助して地域をつくっていきたいと考えています。

8つの政策の実現に向けて、市から自治会に対して希望や要望はありますか。

■共に助け合う「共助」という精神は尊いものです。これまでも自治会と行政は一体となっていていろいろなことを進めてきました。

一方では、ここ数年、コロナの影響もあって、人との関わりが変わってしまった部分もあります。

ここで、コロナが5類の位置付けになって、地域においても子供会などの行事を再開していくなかで、自治会の皆様には、もう一度、人との関わりや絆といった結びつきを意識していただいて、自治会活動等に取り組んでいただくと市としても大変有り難いです。

(担当課:市民協働推進課)